

②総合系 3

(麻酔科)

1. 研修目標

麻酔科学の診療に必要な専門的な知識と技術の習得を目標とする。手術麻酔管理のみならず麻酔関連領域である集中治療管理、ペインクリニック（痛みの治療）、緩和医療、救急医療の知識と技術を修得することを目的とする。

2. 研修指導体制

担当症例ごとに、指導医がマンツーマンで指導を行う。

3. 研修指導責任者 澄川 耕二

4. 研修内容

「麻酔科（選択科目）」基本研修科目カリキュラムに加え、下記の項目の研修を行う。

(1) 周術期全身管理

- ①術前患者のリスクファクターの理解
- ②腰椎穿刺
- ③硬膜外チューブ留置
- ④観血的動脈圧ラインの確保
- ⑤中心静脈カテーテルの留置と管理
- ⑥術後合併症の診断と治療
- ⑦緊急検査法の習熟
- ⑧緊急症例への対応
- ⑨高齢者の麻酔管理
- ⑩小児の麻酔管理
- ⑪ハイリスク症例の麻酔管理
- ⑫学術集会での発表

(2) 集中治療部での研修

- ①中心静脈路・動脈ライン設置法の修得
- ②人工呼吸器使用法の修得
- ③急性血液浄化・機械的補助循環の患者管理

(3) ペインクリニックの研修

- ①痛みの病態の把握
- ②術後疼痛の管理
- ③基本的な神経ブロック
- ④慢性疼痛の管理

(4) 緩和医療

- ①緩和医療の理解と実践
- ②緩和医療における地域連携

5. 研修到達目標

5-1 行動目標

医療人として必要な基本姿勢・態度を身につける。患者を全人的視野からとらえる姿勢を形成する。さらに、救急医療の基本的な知識と即応性のある技術を修得する。

5-2 経験目標

臨床医としてプライマリーケアに必要な診断法と治療法を身につける。さらに、手術麻酔管理の専門的な知識と技術、集中治療の実際、ペインクリニック（痛みの治療）、緩和医療、救急医療の知識と技術を修得する。

A 経験すべき診察法・検査・手技

「麻酔科・救急部門」基本研修科目カリキュラムを深めることに以下を加える。

(1) 基本的な臨床検査

- ① 髄液検査
- ② 内視鏡検査
- ③ 超音波検査
- ④ MRI 検査
- ⑤ 神経生理学的検査

(2) 医療記録

- ① 紹介状と、紹介状への返信を作成でき、それを管理できる。